

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	雨水排水施設整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課				
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	池田 輝昭				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	浸水解消を望む市民	意図	雨水排水施設を整備し、浸水被害を防止する。
事業内容	浸水被害が発生している箇所において、排水施設を整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	市街化拡大による雨水流出量の増大や近年多発するゲリラ豪雨などで、浸水被害が発生していることから、被害状況を把握し優先順位を定め整備する。 開発調整池、雨水排水管の整備が進み、家屋浸水被害件数は減少傾向である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	浸水等被害件数	0	5	0	箇所	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 浸水被害を解消するため、排水管を整備するには、多額の事業費と時間を要する。
 平成30年度に東深井地先の排水管整備工事が完成した。（平成30年6月18日、平成31年3月13日、5m）

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	43,981,940	78,509,600	107,528,000
事業費(b)(円)	40,549,440	73,140,000	102,254,400
うち一般財源	40,549,440	73,140,000	102,254,400
職員給与と費(c)(円)	3,432,500	5,369,600	5,273,600
人役・職員(人)	0.50	0.80	0.80
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・道路冠水等の浸水解消に伴う雨水排水施設工事を実施する。	③取組における課題(Check)	・排水管を整備するには、多額の予算と時間を要する。
②H30に実施した取組(Do)	・東深井地先の排水管整備工事が完成した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・関係機関と協議を実施し、工事計画を策定する。 ・公共下水道事業への移行を視野に調整する。